

再考！用具を使って安全、安楽、自立を 意識した移動介助の“きほん”

今回の交流セッションの目的は、移動介助の“きほん”となる、安全、自立を考慮した介助方法について再考し、講義（一部オンライン）と演習を対面で展開しました。参加者は32名で盛況でした。活動の様子を報告します。

研修日程：2023年（令和5）年10月15日（日）10時40分～12時10分

会場：熊本市市民会館、国際交流会館

第5会場（国際交流会館 4階 第3会議室）

開催方法：対面（講義はオンライン含む）

技術研究成果検討委員 移動動作評価班班長 西田直子、
班員 水戸優子、若村智子、平田美和、首藤英里香、富田川智志、國澤尚子



熊本城の写真

研修内容：

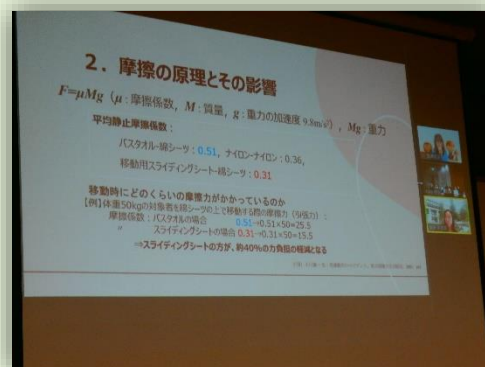
- 1) ストレッチャーの移乗介助による事故について
- 2) 自然な動き
- 3) 摩擦、自立、安全（オンライン）
- 4) ポータブルトイレの移乗、ボードを使用して自分で移乗（ビージーボードを使用して）する方法を紹介
- 5) 会場参加者との質疑応答（オンライン）



西田直子班長からの講義の様子



会場の様子



首藤氏によるオンラインでの講義の様子



富田川氏の講義の様子

< 講義内容のご紹介 >

第21回学術集会 交流セッション12

再考！用具を使って安全、安楽、自立を意識した
移動介助の“きほん”

- 西田直子 (京都先端科学大学)
- 國澤尚子 (埼玉県立大学)
- 若村智子 (京都大学)
- 水戸優子 (神奈川県立保健福祉大学)
- 平田美和 (帝京大学)
- 富田智志 (日本福祉大学)
- 首藤英里香 (札幌保健医療大学)

2022年10月

A 警察署

日本看護技術学会

捜査関係事項照会書

ベッドからストレッチャーへの移乗中に転落した業務上過失
失傷傷害事件

・「刑事訴訟法」とは 刑事事件につき、公共の福祉の維持と個人の基本的人権の保障とを全うしつつ、事実の真相を明らかにし、刑罰法令を適正かつ迅速に適用実現することを目的とした法律です。刑事事件の捜査、公訴、公判等の手続について定めています

・第197条

2. 捜査については、公務所又は公私の団体に照会して必要な事項の報告を求めることができるとある。

まとめ

- ◆移動時にはベッドやストレッチャーの固定を確認する。
- ◆ベッドやストレッチャーの固定が甘くないか定期的に点検する。
- ◆ベッドやストレッチャーは動く可能性があるという認識を持ち使用する事が重要である。
- ◆移動の際には、適切な介助者の人数・配置や移乗補助器具を適切に使用する。
- ◆介助者は最低2名以上で行い、ベッド側と移動先には必ず1名は立って介助する。
- ◆移動時には介助者が声かけなどを行い、意思統一する。
- ◆安全な介助ができるよう 物品管理や移動動作の研修会を定期的に行う。

(捜査関係事項：ストレッチャーへの移乗時の転落) をもとに、安全(どうしてそう
うなったのか、どこに立つといいのか、両サイドに立つことの意味、体格の違い、手
技など) について考える (西田班長のスライドより抜粋)

日本看護技術学会第21回学術集会 交流セッション12
再考！用具を使って安全、安楽、自立を意識した移動介助のきほん

人の自然な動きを活用して
片麻痺患者の車椅子移乗介助を考えよう！

2023.10.15 (日)
帝京大学医療技術学部看護学科
平田 美和

人の自然な身体の動き
(起き上がり/立ち上がり/
着座/座り直し)

片麻痺患者が
出来るところと
出来ないところを
アセスメント

片麻痺患者の
車椅子移乗介助へ活用

椅子からの立ち
上がり、椅子か
らの移乗
(平田氏のスラ
イドより抜粋)

日本看護技術学会 第21回学術集会
交流セッション

再考！用具を使って安全、安楽、自立を
意識した移動介助の“きほん”

摩擦の原理と滑りの応用
～安全・安楽に自立を促す～

首藤 英里香 (札幌保健医療大学)

< 日本看護技術学会・移動動作研習班 >

5. 滑りの応用

・対象者の自然な動きに合わせて移動させる
滑らせることと座座を上手く活用する ⇒ 足底部に滑り止めを
敷き、摩擦を活用！

視認性向上させることが可能な場合

視認性の向上が可能な場合

スライディング
シート (スピラ
ドウ) を使用した
椅子上の移動の演
習を実施 (首藤氏
のスライドより抜
粋)

日本看護技術学会第21回学術集会 (2023年10月15日(日))
交流セッション12 (10:40~12:10)

再考！用具を使って安全、安楽、自立を意識した
移動介助の“きほん”

スライディングボードを活用した
ポータブルトイレ移乗

富田川 智志 (日本福祉大学)

< 日本看護技術学会・技術研究成果検討委員会・移動動作研習班 >

スライディングボードの種類

◎特徴：表面は滑りやすく、裏面は滑り止めがついている板状のもの
車いす、ベッド、トイレ、自動車の座席などへの移乗介助の際に、
座位姿勢のまま滑るように移乗できるように対象者の臀部の下に
差し込んで使う、座位移乗用支援用具 (形状やサイズはさまざま)

マスターグライド(トラックヘルムタイプ)

スライディングボード

スライディングボード

ボードの内面は滑り止めを加工して滑り止

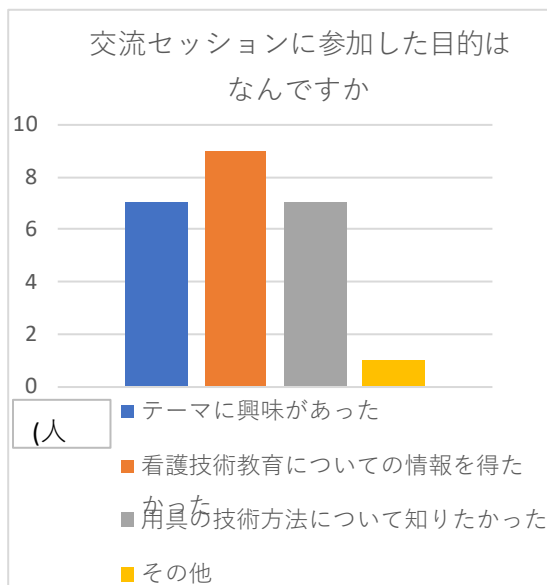
スライディング
ボード (ビー
ジーボード®) を
使用した
ポータブルトイレへの移乗 (富
田川氏のスラ
イドより抜粋)

日本看護技術学会 第21回学術集会交流セッション12アンケート結果

参加者数32名 回答者数15名

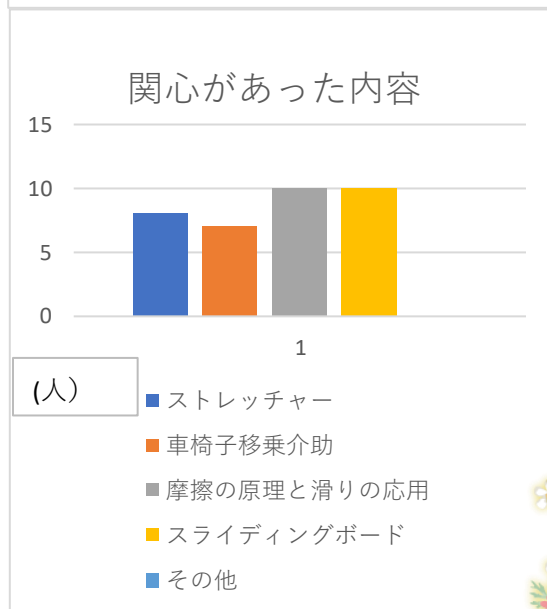
交流セッションに参加した目的はなんですか(複数回答可)

内容	人	%
テーマに興味があった	7	46.7
看護技術教育についての情報を得たかった	9	60.0
用具の技術方法について知りたかった	7	46.7
その他	1	6.7



移動動作教育について関心があったものすべてをえらんでください(複数回答可)

内容	人	%
ストレッチャー	8	53.3
車椅子移乗介助	7	46.7
摩擦の原理と滑りの応用	10	66.7
スライディングボード	10	66.7
その他	0	0.0



感想や希望があればご記入ください

これからの介護負担の軽減につながると思います。どんどん広まると良い

ポータブルトイレの移乗についてとても参考になりました。ありがとうございました

警察署から本学会に問い合わせがあったという西田先生のお話、学会員としてとてもうれしく思います。医療安全ニュースが基礎教育の方へは流布されていないのですね

スライディングボードに曲がったタイプがあることを知らなかった。確かに直線でない方が使いやすいと感じた

スライディングシートの活用、靴下の着脱がとても参考になりました

全体的に非常に勉強になりました。キャラバン研修会に参加してみたいです